



② 計画事業評価シート

計画事業評価シート

所管部	地域振興部	所管課	多文化共生推進課
-----	-------	-----	----------

基本政策	Ⅲ	個別施策	15	関係法令等	新宿区多文化共生まちづくり会議条例
計画事業	63	—	多文化共生のまちづくりの推進		
事業概要					
外国人と日本人が互いに理解し合い、ともに快適に暮らし、働き、学び、遊ぶ場として魅力あふれるまちを目指し、主体的にまちづくりに参画できる環境を整えます。					

令和4年度の取組・評価

令和4年度当初の取組方針

取組方針 (当初予定)	<p>新宿区多文化共生まちづくり会議や新宿区多文化共生連絡会など、地域の日本人と外国人がともに区政に参画する体制を引き続き整備します。</p> <p>また、交流やコミュニケーションの場を充実することで、日本人と外国人の交流を促進し、多文化共生意識の普及啓発を図ります。なお、多文化共生交流会については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた対策を講じた上で実施していきます。</p> <p>さらに、地域コミュニティや日本語学校との連携を図るとともに、より効果的で効率的な外国人への情報提供体制を検討・整備していきます。</p> <p>第4期新宿区多文化共生まちづくり会議(平成30年9月～令和2年9月)から提言を受けた「しんじゅく多文化共生プラザの活用による多文化共生のさらなる推進」について、施策に反映していきます。</p>
-------------	--

令和4年度の事業実績

実績	<p>(1) 新宿区多文化共生まちづくり会議の運営 第1部会 5回【5回】、第2部会 5回【5回】、全体会 1回【1回】</p> <p>(2) 新宿区多文化共生連絡会の運営 5回【6回】 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止 会員数:118団体【122団体】</p> <p>(3) 交流やコミュニケーションの場の充実 多文化共生交流会 1回【1回】 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止</p> <p>(4) 効果的な情報提供体制の整備 【】内は当初予定していた実施回数・実施時期を記載 ① 新宿生活スタートガイド 1冊【1冊】 産関係団体:2,300部、多文化共生推進課:200部)、SNS (Facebook:フォロワー数1,063、Twitter:フォロワー数648 LINE:友だち登録数1,063 微博(Weibo):フォロワー数74) 周知(8回)、戸籍住民課・特別出張所での窓口周知 ② 効果的な情報提供体制の検討会 4回【4回】 ③ 地域コミュニティや日本語学校との連携 ・外国人コミュニティの代表者にコロナ関連情報の母国語での発信協力を依頼 ・日本語学校や専修学校へワクチン接種情報周知を依頼 ⑤ しんじゅく多文化共生プラザの機能の充実 ① リニューアルした区ホームページでの外国人への迅速な情報発信 ② 日本語ひろば事業の円滑な運営 ③ 多文化共生連絡会のあり方(ネットワーク機能の強化)について連絡会世話人会で検討 ④ 外国人相談機能充実のための専門的な相談機関や外国人コミュニティとの連携 外国人コミュニティ団体からの要望による個別事業にかかる説明会の実施</p>
----	--

事業成果を図る指標

指標名	指標の定義(単位)	前年度の評価		
		R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度
1 新宿区多文化共生まちづくり会議の開催回数	新宿区多文化共生まちづくり会議の開催回数(回)	目標値	6	6
		実績値	6	
		達成度	100.0 %	
2 新宿区多文化共生連絡会の会員数	新宿区多文化共生連絡会の会員数(団体)	目標値	122	125
		実績値	118	128
		達成度	96.7 %	

分析の視点(妥当性・効率性・有効性・成果)による評価及び令和3年度の評価結果

妥当性(執行体制、事業手法の適切性)	適切	有効性(区民ニーズ、地域課題への対応)	適切
効率性(費用対効果の適切性)	適切	成果(目的達成に向けた成果)	上げている
評価結果	計画どおり		
評価	<p>指標「新宿区多文化共生まちづくり会議の開催回数」については、予定通り開催しました。また、多文化共生交流会は、これまで同様、多文化共生推進課が、多文化共生団体に声を掛けするなど、様々な団体とネットワーク構築を図ったことにより、新たに3団体加入しました。交流やコミュニケーションの場の充実については、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回は中止となりましたが、3月の開催の交流会は、オンライン開催によりベトナムの文化交流効果的な情報提供体制の整備については、令和5年度から新型コロナウイルスやワクチンに関連する情報を、外国人コミュニティに提供をしたほか、日本語ひろばを円滑に運営するため、ボランタリー多文化共生まちづくり会議の報告書の提言内容を参考に、これらのことにより、多文化共生の推進に係る一定の成果をあげていることから、計画どおりと評価します。</p> <p>選択肢: ・適切 ・改善が必要</p> <p>選択肢: ・上げている ・上げていない</p> <p>選択肢: ・計画以上 ・計画どおり ・計画以下 ・計画以下(新型コロナウイルス感染症の影響によるもの)</p>		

前年度の評価

情報

事業形態

分類  非市場的・必需的サービス  市場的・必需的サービス  市場的・選択的サービス  非市場的・選択的サービス

市場性及び必要性の二つの基準を基にした事業形態

事業経費

	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	2021~2023年度	備考
予算現額	3,319 千円			3,319 千円	【特定財源】 地域における青少年健全育成応援事業補助金
事業経費	2,067 千円			2,067 千円	
一般財源	2,052 千円			2,052 千円	
特定財源	15 千円			15 千円	
執行率	62.3 %			62.3 %	

第二次実行計画期間における当該事業に要する経費

令和5年度の進捗状況

課題・ニーズ等	<p>令和3年度に引き続き、第4期新宿区多文化共生まちづくり会議の「しんじゅく多文化共生プラザの活用による多文化共生のさらなる推進について」の報告書の提言内容を、実行していきます。特に、ネットワーク機能を強化するための新宿区多文化共生連絡会のあり方検討の内容を会運営に反映させることや、外国人相談機能を充実するための専門的な相談機関や外国人コミュニティとの連携を進める必要があります。</p> <p>また、令和5年度からの情報提供体制を整備するため、引き続き既存の情報提供体制を見直し、新たな情報提供手段の活用を検討する必要があります。</p>
令和5年度の方向性・取組方針	<p>継続</p> <p>新宿区多文化共生まちづくり会議においては、「日本人と外国人が共につくる地域社会のあり方」をテーマとする第5期(令和2年9月~令和4年9月)の審議が令和4年8月までにまとまることを受け、適切に対応していくことで、地域の日本人と外国人がともに区政に参画する体制を強化していきます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症への対応を取り入れた交流やコミュニケーションの場を充実することで、日本人と外国人の交流を促進し、多文化共生意識の普及啓発を図ります。</p> <p>さらに、地域コミュニティや日本語学校との連携を図るとともに、より効果的で効率的な外国人への情報提供体制を検討・整備していきます。</p> <p>しんじゅく多文化共生プラザの機能の充実については、ネットワーク機能や外国人相談機能において、令和3年度に検討した内容を整理・具体化し、実施していきます。</p>

令和5年度当初の課題・ニーズ等

令和5年度当初の方向性・取組方針

事業分析

当年度の進捗



③ 経常事業取組状況シート

<b>事業名</b>		599 外国人留学生学習奨励基金	<b>所管部</b>	地域振興部
			<b>所管課</b>	多文化共生推進課
<b>事業概要</b>		留学生生活を続けていくために経済的な援助を必要としている区内在住の学業成績優秀な外国人留学生に対し、学習奨励金を支給します。		
<b>4年度</b>	<b>取組内容・実績</b>	故馬場敏英氏および故濱田音四郎氏からの寄付金による外国人留学生学習奨励基金を運用し、区内在住の学業成績優秀で、かつ留学を続けていくために経済的援助を必要とする外国人留学生に対して、奨学金を支給する。奨学金は一人当たり年額24万円 支給人数:15人		
	<b>予算現額</b>	3,601 千円	<b>取組状況</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善が必要
	<b>事業経費</b>	3,480 千円		
	<b>執行率</b>	96.6 %		

事業の目的、  
実施内容

令和4年度の  
事業の取組内  
容、実績、事  
業手法、事業  
経費